

社会福祉法人足柄緑の会

平成29年度事業報告

目 次

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～4
2	平成29年度法人利用者状況等	5～12
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	13～18
4	コスモス学園中沼ケアセンター	19～21
5	居宅介護事業所それいゆ	22～23
6	コスモス学園松田センター	24～31
7	相談支援事業所あすなろ	32～35
8	コスモスホーム	36～39

1. 平成29年度 社会福祉法人足柄緑の会 事業報告

1. 概況

法人設立20周年を迎えた平成29年度は、社会福祉法等の改正による社会福祉法人制度改革に伴うガバナンスの強化として、前年度変更した新定款のもとに、議決機関として位置づけられた新評議員会により新たに理事、監事が選任され、新しい法人運営体制に移行した。

この社会福祉法人改革は社会福祉法人の在り方が問われるものであり、既存の規程を見直し、また他の主体との違いを明確にすべく後述する地域における公益的な取組を推進するとともに、組織体制とキャリアパスの再整備にも着手した。

また、事業運営の透明性の向上に努め、財務規律を強化した。

2. 課題への取組

(1) 職員の教育・育成

神奈川県、日本知的障害者福祉協会、神奈川県社会福祉協議会、全国社会福祉法人経営者協議会等が主催する経営から支援スキル、新人教育までの幅広い範囲の研修会に、各事業部門・各階層より参加の機会を作り、利用者支援や法人運営に対して最新の情報を適正に還元できるよう努めた。

また、全体職員研修会では、6月に松田警察署より講師を招いて「不審者対応」のシミュレーションと講義を、2月には成人利用者の支援の在り方を再考することを目的に社会福祉法人よるべ会障害児入所施設「わらべの杜」の見学研修を実施した。

(2) 障害福祉サービス事業の展開

今年度も前年度に続き新たな取組は最小限にとどめ、日中活動支援サービスのさらなる質の向上に力を注いだ。

① 法人設立20周年記念式典

10月14日(土)学園祭に先立ち盛大に式典を開催。あいにくの雨模様の中であったが、幅9メートルのステージ上に創設者、行政関係者はじめ多数の来賓を招き、祝辞を受けた。また第1回となる在籍20年の利用者を祝う永年勤続表彰を行った。

② 生活介護部門

利用者の選択肢を増やして、個々のニーズをつかむ支援に努めた。セラピー犬、ダンベル体操など両事業所で共有するプログラムを作り、交流する中で心身の健康改善を図った。また、ボランティアの更なる参加・拡大等を進めた。

個々の利用者に適したリサイクル作業・受注作業等の日中生産活動、食事外出を継続・拡大した。

③ 就労移行支援・就労継続支援B型部門

生産事業部と協力しながら、生産増・検査作業強化を図り、個々の利用者に適した作業種目の拡大を図った。またK E Sの定着化に努めた。

就労移行支援では、ビジネスマナーの実践、作業スキル向上を図るとともに社会性の向上を目指した。

コスモス学園松田センターでは地元行事に積極的に足を運び、地域交流に力を入れ、障害や事業所の理解を深めた。この活動は利用者からのニーズも大変高い。

④ 共同生活援助部門

行政、医療、福祉等様々な専門機関との重層的な連携を保ちながら、利用者の自立に向けて日常生活関連動作、健康管理・金銭管理・相談等の支援に力を入れるとともに、利用率アップに取り組み、前年度比7%増の82%の利用率となった。しかし服薬管理や通院同行する利用者が増えたことによる対応職員数の課題があった。この背景には保護者の高齢化（＝保護者からの利用ニーズ増）もあり、インフルエンザ感染等緊急時も利用できるよう個別対応する部屋が必要である。

⑤ 居宅介護部門

昨年度より引き続き休日のコスモスホーム勤務者をヘルパー資格所持者とした結果、総利用時間数は前年度より159.5時間増となった。

外部利用者に対しては、現状の職員数ではニーズ全てに対する対応は困難であり、スポット職員を増やすことが課題であったが、現状の職員数では結果的に補充できず、来年度も深刻な課題である。

⑥ 相談支援部門

平成29年10月に担当件数が想定していた上限の180件となった。そこで受入れを見合わせた結果、現在は165名となっている。これはサービスの質の点で平成30年度制度改正によりモニタリングの頻度が対象者によっては増えることへの対応にもつながる。

会議・研修に参加し相談支援に必要な知識の習得に努めたが、相談支援専門員の数が現状1名なのは課題である。

⑦ 生産事業部門

成形技術者1名、事務員1名を雇用して作業効率を改善し、また新規受注が増える中、年間売上高を116%まで伸ばした。また、月1回程度品質打合せを実施するとともに収益改善のためプラスチック分科会を定期的に実施し、顧問の指導のもと成形工場の生産性向上に取り組んだ。

ISO9001 については規格を 2008 年度版から 2015 年度版に移行し認証された。

(3) 法人の社会的責任遂行・地域との連携

法人が公益法人としての性格を明確にするために課せられた責務として、地域における公益的な取組がある。その推進にあたり、カフェ・デ・ソルでは前年度に引き続き南足柄市の地域包括支援センターや社会福祉協議会と協力して「ほっとカフェ（認知症カフェ）」を開催した。この取組の定着は、社会福祉法人という組織体を持つべき公益性を、カフェ・デ・ソルを媒介として様々な展開できる可能性を示した。

今年度新規の取組としては、消防ボランティアチーム「DARST」と南足柄市社会福祉協議会との協力による「避難所生活術研修」にカフェ・デ・ソル担当職員が参画し、災害時非常食レシピを考案、実演するなどの地域防災活動に関わった。

(4) 法人の組織・運営体制の強化と財務の安定による必要経費の投資

経営に係る業務執行を合議で協議する組織・運営体制を、前年度までの「運営委員会」に代わり、理事会出席者と同じメンバー構成による「業務会議」として開催した。

また、改善されてきた財務状況を細やかに把握し、利用者の椅子・机入替、電灯の LED 化推進、トイレ等水回りの修繕、ワックス清掃、エアコン清掃、職員用パソコン入替等を行い、利用者が快適に施設を利用でき、かつ職員の業務環境が改善するよう計画的に投資を行った。

3. 理事会・評議員会等実施報告

監事監査 平成 29 年 5 月 15 日（月）

監査項目	平成 28 年度事業報告について 平成 28 年度決算について
------	------------------------------------

第 106 回理事会 平成 29 年 5 月 24 日（水）

第 1 号議案	平成 28 年度事業報告について
第 2 号議案	平成 28 年度決算について
第 3 号議案	監事監査報告について
第 4 号議案	運営規程の変更について

第 5 号議案 役員選任候補者の推薦の提案について

第 50 回評議員会 平成 29 年 6 月 14 日（水） *新評議員による開催

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について

第 2 号議案 平成 28 年度決算について

第 3 号議案 役員（理事・監事）の選任について

第 4 号議案 役員等報酬規程の変更について

第 107 回理事会 平成 29 年 6 月 21 日（水） *新理事・新監事による開催

第 1 号議案 理事長の選任について

第 2 号議案 役員等旅費規程の変更について

第 3 号議案 業務会議規程の新設について

第 4 号議案 定款施行細則の変更について

第 5 号議案 職務権限規程の変更について

第 108 回理事会 平成 29 年 9 月 5 日（火）

第 1 号議案 定款施行細則の変更について

第 2 号議案 経理規程の変更について

第 3 号議案 給与規程およびキャリアパスの変更について

第 109 回理事会 平成 30 年 1 月 30 日（火）

第 1 号議案 平成 29 年度第 1 次補正予算（案）について

第 2 号議案 公印管理規程の変更について

第 110 回理事会 平成 30 年 3 月 26 日（月）

第 1 号議案 平成 29 年度第 2 次補正予算（案）について

第 2 号議案 第 2 次中期計画（案）について

第 3 号議案 平成 30 年度事業計画（案）について

第 4 号議案 平成 30 年度予算（案）について

第 5 号議案 人事異動（案）について

第 6 号議案 職務権限規程の変更について

第 7 号議案 居宅介護事業所それいゆ 運営規程の変更について

2. 平成29年度法人利用者状況等

(1) 事業所別利用者数

平成30年3月1日付

関係機関		南足柄市		小田原市		秦野市		山北町		開成町		大井町		松田町		箱根町		横須賀市		平塚市		中井町		湯河原町		計														
事業所	障害程度区分	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計									
中沼J C 就労移行	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0									
	2			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0									
	3			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0									
	4			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1									
	区分なし	2		2	1	1		0		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0	3	1	4									
	計	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5								
中沼J C 就労継続	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0									
	2	3	1	4		0	1		1	1	1		0		0	1		1		0		0		0		0		0	6	1	7									
	3	3	2	5	4	4	1	1	2		0	1	1		0		0	1	1		0		0		0	1	1	1	11	3	14									
	4	3	2	5	1	1	2		1	1	1		1		0		0		0		0		0		1	1		0	5	5	10									
	5	2		2		1	1			0		0		0		0		0		1	1		1	1		0		0	2	3	5									
	6			0	1	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1								
	区分なし	4	2	6	1	1	1	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	6	2	8								
計	15	7	22	7	2	9	3	2	5	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	31	14	45					
中沼J C 日中一時	1	1		1		0			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1								
	2		1		2	1															0									2	2	4								
	3			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1									
	計	1	1	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	6							
中沼C C	3	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	1	2									
	4	3		3		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	3	0	3									
	5	1	6	7	2	2	4	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0	4	8	12										
	6	4	4	8	1	6	7			0	1	1	2		0		0		0		0		0		0	1	1	7	11	18										
	計	9	11	20	3	8	11	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	15	20	35						
松田C C 就労継続	1			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1									
	2			0	1	1	1	1		0			0	3	1	4		0		0		0		0		0		0	5	1	6									
	3			0		1	1	3	3		0	1	1		1	1		0		0		0		0		0		0	4	2	6									
	4			0	2	2	4	2	2		0		1	1	3	3		0		0		0		0		0		0	7	3	10									
	区分なし			0		0		0		0	2		2	2	2		0		0		0		0		0		0		0	4	0	4								
	計	0	0	0	4	3	7	6	0	6	0	0	0	3	1	4	8	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	6	27					
日中一時 松田C C	2			0	1	1	2	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	3	0	3									
	3			0		0		0		0		0	1		1		0		0		0		0		0		0	1	0	1										
	計	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4								
松田C C 生活介護	3			0		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	0	1									
	4	1		1	2	1	3	1	1		0		0	1	1	1	1		0		0		0		0		0		0	5	2	7								
	5			0	2	2	1	2	3		0		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0	4	2	6								
	6	2	1	3	2	2	4	2	2	1	1	1	1		0		1	1		0		0		0		0		0	8	4	12									
	計	3	1	4	6	3	9	4	2	6	2	0	2	1	0	1	1	0	1	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	8	26				
コスモスホーム	1	2		2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	2	0	2									
	2	2		2		1	1		0		0		0	1	1	2		0		0		0		0		0		0	3	2	5									
	3	1	1	2	2	2		1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0	3	2	5										
	4	2		2		0		0		0		1	1		0		0		0		0		0		1	1		0	2	2	4									
	5	1	2	3		1	1	1	1	2		0		0		0		0		1	1		0		0		0	2	5	7										
	6	1	1	2		2	2	1		1	1	1	1		0		0		0		0		0		0		0	4	3	7										
	計	9	4	13	2	4	6	2	2	4	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	16	14	30									
	合計	39	24	62	28	21	46	18	6	24	6	1	7	6	2	8	11	4	15	2	2	4	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	2	2	2	0	2	113	65	178
参考	28年度合計	38	24	62	24	20	44	19	6	25	6	1	7	8	3	11	8	3	11	2	2	4	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	2	2	2	0	2	108	64	172

(2) 利用者年齢構成状況

平成30年3月1日付

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
就中 労沼 移J 行C	男	1	2		1					4	26.5
	女	1								1	19.0
	計	2	2	0	1	0	0	0	0	5	22.8
就中 労沼 移J 移C	男	1	11	5	7	3	4			31	32.3
	女		4	2	4	3		1		14	33.6
	計	1	15	7	11	6	4	1	0	45	33.0
日中 沼J 一時C	男			1	1	1				4	40.0
	女				2					2	34.5
	計	0	0	1	3	1	1	0	0	6	37.3
中 沼 C C	男		2	4	5	4				15	33.2
	女		3	5	6	3	1	2		20	35.8
	計	0	5	9	11	7	1	0	2	35	34.5
就中 松田 移C	男	2	4	5	6	2	1		1	21	33.6
	女		1		3		1	1		6	40.5
	計	2	5	5	9	2	2	1	0	27	37.1
日中 松田 一時C	男		1	2		1				4	30.5
	女									0	
	計	0	1	2	0	1	0	0	0	4	30.5
生活 介護 C	男	1	8	5	1	3				18	27.3
	女		3	4	1					8	26.3
	計	1	11	9	2	3	0	0	0	26	26.8
										全平均	31.7
										男性平均	31.9
										女性平均	31.6

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
ホーム ス	男	1	1	3	3	4	3	1		16	39.6
	女		3	2	5	1	1	1		14	36.9
	計	1	4	5	8	5	4	2	0	30	38.3

(3) 医療状況

内科検診

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/17	38	31		69
8/30			45	45
10/11	39	32		71
1/31			47	47
計	77	63	92	232

利用者健康診断(IA)

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
3/13			50	50
3/23	45	31		76
計	45	31	50	126

歯科検診

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
6/19	39	30		69
5/23,25			55	55
計	39	30	55	124

インフルエンザ予防接種(任意)

月／日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
11/8			38	38
11/27		27		27
11/30	34	4		38
計	34	31	38	103

(4) コスモス会(自治会)活動状況

項 目	実 施	場 所
自治会役員定例会議	11回/年	中 沼 ジョブ センター 会議室 松 田 セ ン タ ー 食 堂
全 体 会	12回/年	中 沼 ジョブ・ケアセンター 作業室 松 田 セ ン タ ー 作 業 室
献 立 会 議	4回/年	中 沼 ケ ア センター 食堂 松 田 セ ン タ ー 食 堂
行事準備(買出し等)	2回/年	
学 園 行 事 担 当	納 涼 大 会 (ジュ ー ス) 学 園 祭 (抽 選 会 ・ 各 店 舗 補 助)	中 沼 ケ ア センター 中 庭

(5) 行事実施状況

実施日	行 事 名	場 所
H29.4.3	入 所 式	南 足 柄 市 文 化 会 館
H29.5.27	県 西 地 区 み ん な の つ ど い	小 田 原 ア リ ー ナ
H29.6.23	レクリエーション(中沼ジョブセンター)	コ ロ ナ キャットボール 小 田 原
	レクリエーション(中沼ケアセンター)	ヴ ォ イ ス キ ャ ッ ツ 小 田 原
	レクリエーション(松田センター)	伊 勢 原 こ ど も 博 物 館
H29.7.15	第 20 回 納 涼 大 会	中 沼 ケ ア センター 中 庭
H29.9.15	コ ス モ ス 学 園 運 動 会	南 足 柄 市 体 育 館
H29.10.7	パ ー ベ キ ュ ー 大 会	コ ス モ ス ホ ー ム 駐 車 場
H29.10.14	第 20 回 コ ス モ ス 学 園 祭	中 沼 ジョブセンター・中 沼 ケアセンター
H29.11.17	生 活 介 護 バ ス 旅 行	東 海 大 学 海 洋 科 学 博 物 館
H29.11.22	就 労 系 (中 沼 ジョブセンター) バス旅行	八 景 島 シ ー パ ラ ダ イ ス
	就 労 系 (松 田 センター) バス旅行	あ わ し ま マ リ ン パ ー ク
H29.12.2	コ ス モ ス ホ ー ム 忘 年 会	中 沼 ケアセンター 1 階 作 業 室
H29.12.9	第 36 回 県 西 地 区 障 害 者 文 化 事 業	小 田 原 市 川 東 タ ウ ン セ ン タ ー マ ロ ニ エ
H29.12.15	クリスマス会(中沼ジョブセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 2 階
	クリスマス会(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
	クリスマス会(松田センター)	松 田 セ ン タ ー
H30.1.6	成 人 式 (中 沼)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
	成 人 式 (松 田 セ ン タ ー)	松 田 セ ン タ ー
H30.3.18	第 14 回 ワクワク・のりのりコンサート	小 田 原 市 け や き ホ ー ル

(6) ボランティア状況

月	納涼					学園祭					受入人数 268 名		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中沼JC						3			1				4
中沼CC	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	34
松田C	2	3	4	7	5	6	3	6	3	2	5	2	48
コスモスホーム									7			5	12
イベント				95		16	59						170
合計人数	4	6	7	105	7	28	65	9	14	5	8	10	268

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加総数 394 名
			参加人数
9/19	総合防災訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	109
7/26	火災避難訓練	松田センター	49
12/22	総合防災訓練	松田センター	46
12/27	総合防災訓練	コスモスホーム	18
1/30	地震避難訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	113
3/25	総合防災訓練	コスモスホーム	13
3/26	地震避難訓練	松田センター	46
			394

(8) 研修・実習等受入状況

受入総数 17 名

実施日	研修・実習名	人数
H29.5.15～6.2	神奈川社会福祉専門学校実習（コスモス学園松田センター）	2
H29.5.15～6.2	平成29年相談援助実習Ⅱ神奈川県社会福祉専門学校 （コスモス学園中沼ジョブセンター）（コスモス学園中沼ケアセンター）	2
H29.6.5～6.16	産業現場等における実習神奈川県立平塚養護学校（コスモス学園中沼ジョブセンター）	1
H29.6.19～6.30	産業現場等における実習神奈川県立平塚養護学校（コスモス学園中沼ジョブセンター）	1
H29.7.5～7.7	小田原養護学校3年生実習（コスモス学園松田センター）	1
H29.8.21～9.8	保育実習鎌倉女子大学短期大学部（コスモス学園中沼ジョブセンター）	2
H29.8.31～9.2	鎌倉女子大学保育実習（コスモス学園松田センター）	2
H29.11.28～12.8	相談援助実習Ⅰ神奈川県社会福祉専門学校 （コスモス学園中沼ジョブセンター）（コスモス学園中沼ケアセンター）	1
H30.2.6	小田原養護学校2年生体験実習（コスモス学園松田センター）	1
H30.2.22	現場（校外）1日体験実習神奈川県立小田原養護学校 （コスモス学園中沼ジョブセンター）	3
H30.3.1	小田原養護学校体験実習（コスモス学園中沼ケアセンター）	1
	合計	17

(9) 平成29年度職員配置状況

	所長	部長	サビ管	支援員	相談員	ヘルパー	プラスチック 成形室	看護師	栄養士	事務員	合 計
中沼 JC	1		1	3(10)							5(10)
中沼 CC	1		1	3(18)				(1)	兼務		5(19)
松田C	1		1	B型2(4) 介護4(8)				(7)	兼務	兼務	8(19)
コスモスホーム	1		兼務	3(20)				(1)			4(21)
あすなろ	兼務		相談支援 専門員1								1
それいゆ	兼務		サービス提 供責任者 兼務1			2(4)					3(4)
生産事業部		1					2(5)				3(5)
事 務		2							(1)	2(1)	4(2)
合 計	4	3	5	15(60)		2(4)	2(5)	(9)	(1)	2(1)	33(80)

※()は、非常勤職員

平成28年度職員配置状況 <比較資料>

	所長	部長	サビ管	支援員	相談員	ヘルパー	プラスチック 事業部門	看護師	栄養士	事務員	合 計
中沼 JC	兼務		1	4(9)			2(4)		兼務		8(13)
中沼 CC	1		兼務	5(15)				(1)	兼務		6(17)
松田C	1		1	B型5(1) 介護9 (3)				(5)	兼務	兼務	15(9)
コスモスホーム	1		兼務	3(19)				(1)			4(20)
あすなろ	兼務		相談支援 専門員1								1
それいゆ	兼務		サービス提 供責任者 兼務1			2(4)					3(4)
事務部		2							(1)	2(2)	4(3)
合 計	3	2	4	25(47)		2(4)	2(4)	(7)	(1)	2(2)	41(66)

※()は、非常勤職員

(10) 平成29年度採用・退職状況

事業所	採 用	退 職
中沼 JC	(2)	(1)
中沼 CC	(1)	(1)
松 田 C	(7)	(3)
コスモスホーム	(4)	(1)
あすなろ		
それいゆ		
生産事業部	1(1)	
事 務		
合 計	1(15)	(6)

※()は、非常勤職員

平成28年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採 用	退 職
中沼 JC	(2)	1
中沼 CC	4	4
松田C	2(3)	2(2)
コスモスホーム	(4)	(1)
あすなろ		
それいゆ		
プラ事	1	1
事務部	1	2
合 計	8(9)	10(3)

※()は、非常勤職員

(11) 平成29年度 職員研修出席状況

日 時	研 修 会 名	人 数
6/12	神奈川県市町村審査会研修	1名
6/19	平成29年度支援スタッフ部会6月例会 「津久井やまゆり事件を踏まえて障害者支援を考える」	2名
6/29～30	平成29年度 関東社会就労センター協議会研究大会 in 神奈川	3名
7/11	平成29年度アサーション研修 自分の考えを誠実に「伝える」技術	1名
7/13～14	第48回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	1名
7/19	平成29年度 新任職員人権研修	1名
7/20	神奈川県民間知的障害施設共同会総会及び研修会	1名
7/27	平成29年度安全運転管理者講習	3名
7/26	やまゆりの日講演会「共生社会の実現に向けて」	1名
7/28	平成29年度 インクルーシブ教育推進フォーラム	1名
	障害福祉サービス事業 人材定着の3つの秘訣	1名
7/31	福祉施設のための人事制度改革講座	1名
8/23	平成29年度 障害福祉施設等危機管理講習会	1名
8/24	平成29年度 KWネット合同研修会	1名
8/28	平成29年度 社会福祉法人制度改革対応フォローアップセミナー(前期)	2名
9/7	退職金共済制度改正説明会	1名
9/20、10/6 10/18、27	平成29年度 サービス提供責任者現任者研修	1名
9/21	平成29年度 第1回職員研修会「工賃向上研修会」	1名
9/28	福祉新聞フォーラム 社会福祉充実計画の実務	1名
11/10	社会福祉会計担当者 基礎力アップ講座	1名
11/13	食生活支援担当者研修	1名
	神奈川県オンブズマンネットワーク交流研修会	1名

日 時	研 修 会 名	人 数
11/16	食品衛生管理者講習	1名
11/24	第2回 事務研修部会	1名
12/1	食品表示セミナー研修会	1名
12/12	日中活動支援部会全国大会（施設長等研究会&職員研修会）	1名
12/20、1/19 1/26	社会福祉法人の経営労務管理体制強化研修 実務担当者向け	1名
12/22	社会福祉法人の経営労務管理体制強化研修 経営層向け	2名
1/10～12	(株)日本製鋼所関東営業所 インジェクションスクーリング	1名
1/11	苦情解決研修会	1名
1/25	社会福祉法人・施設職員災害対応研修会	1名
2/2	中井やまゆり園人権委員会主催職員研修	1名
2/5	イズム@JCT研修 就労定着支援事業について	1名
2/14	障害者グループホーム職員研修	1名
2/15	平成29年度 社会福祉法人制度改革対応フォローアップセミナー（後期）	2名
2/27	平成29年度 障害福祉事業経営セミナー	2名
3/14	第4回 事務研修部会	2名
3/15	府中刑務所視察研修会	1名
6/12	第1回 職員研修 《 防犯・防災対策研修 》	63名
	防犯対策:松田警察署生活安全課の方を講師に招いての	
	不審者侵入時の対応、対策、そして仮想実践	
	防災対策:水害土砂災害の避難確保について各事業所で確認、	
	防災体制、情報収集、避難経路確認等を周知	
2/10	第2回 職員研修 《 福祉型障害児入所施設見学 》	54名
	社会福祉法人よるべ会福祉型障害児入所施設わらべの杜 見学	

3. 平成 29 年度 コスモス学園中沼ジョブセンター 事業報告

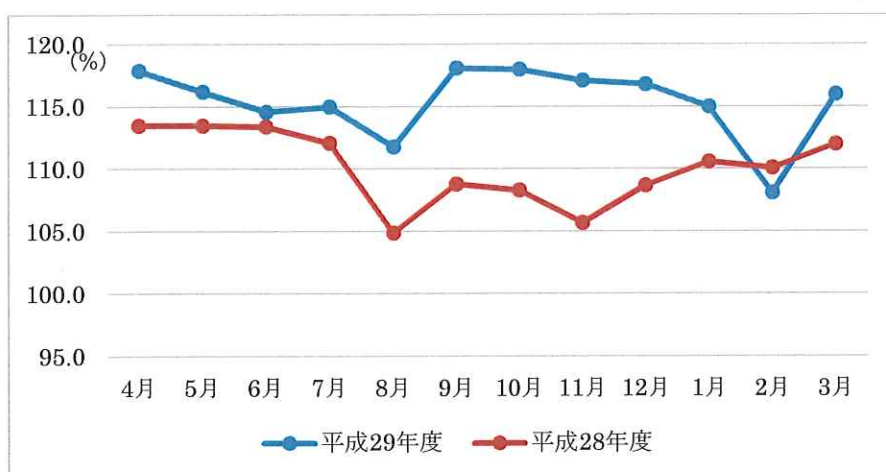
1. 事業内容

就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍者状況（定員 34 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	32	31	31	31	31	31	32	32	32	31	31	31	376
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
計	47	46	46	46	46	46	47	47	47	46	46	46	556
退所		1								1			2
入所	1						1						2

3. 就労継続支援 B 型利用率

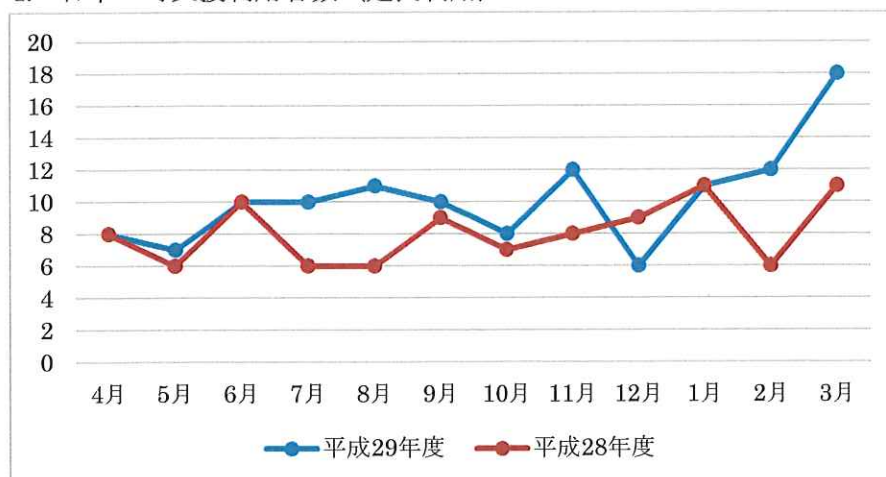


平成 29 年度平均利用率
115.4%

・前年比の累計利用人数 平成 28 年度 9,514 名

平成 29 年度 10,005 名

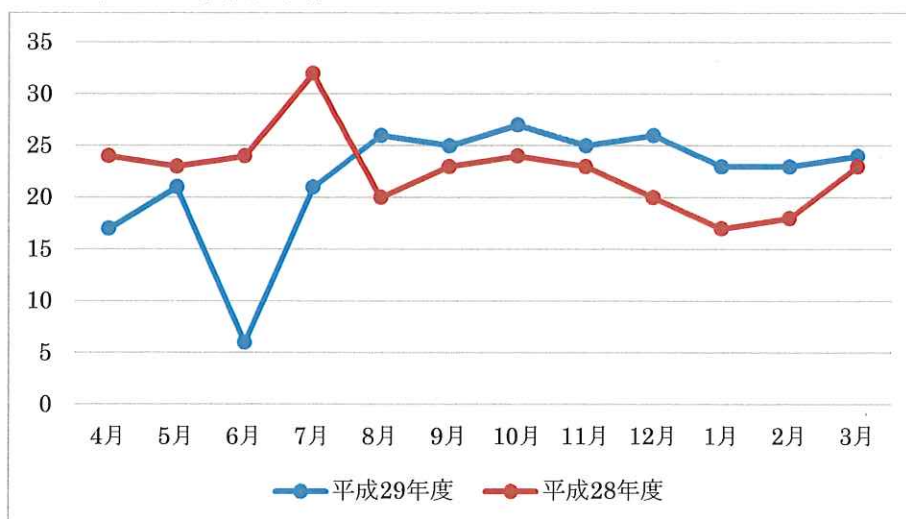
4. 日中一時支援利用者数（延長利用）



平成 29 年度累計回数
123 回

・1 名の利用者が主に利用している。今年度に入り月の利用回数も増加傾向

5. 日中一時支援利用者数



平成 29 年度累計人数
264 名

・ 1 名が主に利用されている。また、保護者会の日に登録者の利用が多い傾向

6. 工賃実績

月	上半期							下半期							年間合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	
工賃支払対象者数	38	38	38	38	38	38	228	38	38	38	38	38	38	228	456
工賃支払総額	505,090	506,210	484,610	488,740	512,400	494,980	2,992,030	505,190	491,660	464,150	475,280	1,123,350	509,260	3,568,890	6,560,920
延べ勤務時間数	3,002	2,855	2,897	2,876	2,983	2,789	17,402	2,785	2,789	2,610	2,671	2,618	2,937	16,410	33,812
平均工賃	時間額	168	177	167	170	172	172	181	176	178	178	429	173	217	194
(円)	月額	13,292	13,321	12,753	12,862	13,484	13,026	13,123	13,294	12,938	12,214	12,507	29,562	13,402	14,388

・ 平均工賃月額…14,388 円

・ 平均工賃時給…194 円

7. 日中活動

(1) 就労活動

① プラスチック事業

生産事業部と連携し、A社の検査・梱包・出荷準備、B社のモデルロケット、C社の商品、D社の金具つけ業務に取り組み利用者工賃向上に努めた。

② 連携作業

コスモス学園松田センターと連携し、作業連携の継続と、作業種目の拡大を図り、B社のモデルロケット作業に取り組んだ。

③ 受注作業

E社、F社が新規取引先に加わり、これまでの取引先からの受注作業量も増加し、売上も着実に伸びている。

④ カフェ・デ・ソルの状況（地域における公益的な取組等）

利用者支援では、新たに 2 名がカフェ作業に参加できるようになり 1 日 3 名～5 名がカフェで接客を行っている。

「認知症カフェ」を年間 11 回開催し、地域のコミュニティスペースとしての広報活動の充実に繋がっている。平成 29 年度は、和田河原自治会の老人会と共同で開催

することができ利用客も増やすことができた。

また、絵画展、演奏会などイベントも開催することができた。

新規の取組みとして 3 月には、消防職員災害ボランティアチーム DAEST、南足柄市社会福祉協議会と連携し「避難所生活術講座」に共同参画した。カフェ・デ・ソル担当職員が、災害時の非常食レシピを考案し、実演するなど地域防災活動に協力した。

⑤ 施設外就労

りんどう会館清掃、封入作業、命の森プロジェクトの育樹作業を継続して行った。また、12 月より新たに G 社にて 3 名の利用者が自動車部品の組立作業に取組み工賃向上を図った。

南足柄市姉妹都市交流会との共同作業では、チューリップの球根 9,000 株を中部公民館に植える作業に参加した。

(2) 余暇活動

① 行事

レクリエーションでは、恒例のボウリング大会を開催、午後からカフェでクッキーやスコーンづくり体験を行っている。

学園祭では舞台プログラムでダンスを披露したが練習時間を割くことができなかったため完成度は低かったが、楽しく参加できていた。

バス旅行は、八景島シーパラダイスを 1 日楽しんでいる。集団行動のルールを守りスケジュール通り事故なく過ごすことができていた。

クリスマス会では、外部からアロマセラピストを招き、アロマオイルを活用したリラクゼーション研修を初めて取り入れた。香りを楽しみ、お互いに手をマッサージし合うなど、女性利用者は積極的に参加していた。

② KES の取り組み

廃品回収（コスモス学園松田センターと連携）では、保護者会にも協力していただき古新聞、段ボールの回収を行い、地域貢献や事業所の取組に対する理解に繋がるよう努めた。

8. 評価

(1) 就労活動

① プラスチック事業

生産事業部と連携したプラスチック事業の生産増は、検査作業を強化するなど、利用者作業の更なる充実に繋がっている。また、モデルロケット部門では、セット工程を見直し、不良品流出が改善され、注文増への対応に 대응することができている。更なる生産性の向上に向け環境整備、治具開発など積極的に取り組んでいく。

② 連携作業

コスモス学園松田センターと就労支援会議を新設し、協議を重ねながら利用者の作業種目の増加、売上増に繋げることができた。今後も受注数量の増加に対応できる効果的な作業配分を、両事業所で検討していき利用者工賃の向上を目指す。

③ 受注作業

自動車部品の組立作業に関しては、作業の難易度も上がり単価の高い作業を受注

することができた。利用者が携われる工程が多いため、幅広く利用者が参加することができ、モチベーションの向上に繋げることができた。ペットボトル、フードパックへのラベル貼作業の受注が増加し、技術力が求められる作業に対しても適応できるようになり作業のバリエーションも増やすことができた。

引き続き受注が増やせるよう取引先との信頼関係を維持し、新規取引先の確保に努める。

④ カフェ・デ・ソルでの地域における公益的な取組

「認知症カフェ」の定期的な開催は、コミュニティスペースとしての地域に根差すことを目的とした公益的な取組として位置付けられる。

南足柄市社会福祉協議会等と連携した「避難所生活術講座」については、今後継続展開し、新たな公益的な取組として事業展開していきたい。

⑤ 施設外就労

施設外就労を通じて、職場での挨拶や礼儀、集中力を養い、学園内での行動にも成長を感じることができた。更なる施設外就労先の確保に取り組んでいく。

(2) 余暇活動

① 行事

納涼大会、学園祭では、利用者に模擬店の手伝いを募り、ボランティアと交流する機会を設けたが、これは障害者や事業所の取組に対する理解を深めることも目的であった。

クッキーづくり等の調理活動は、開所以来初めて行ったが、女性利用者だけでなく男性利用者からの評判もよく、今後も調理活動は定期的にプログラムとして取り入れていきたい。

バス旅行等外出時の行動把握も年々安定してきているため、次年度からは、より利用者のニーズに沿った内容の企画をしていく。

② KES の取り組み

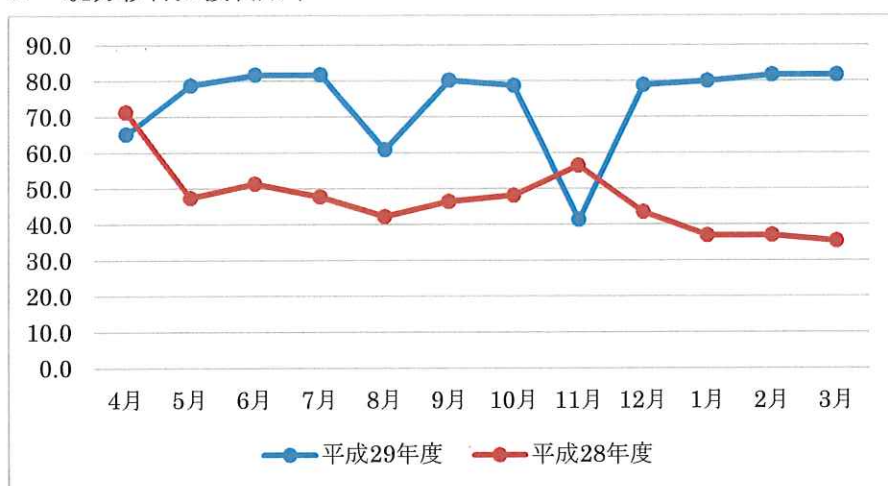
段ボール、古紙の回収では、保護者へ周知したことで回収量が増加した。今後も積極的に環境改善活動に取り組んでいく。

1. 事業内容
就労移行支援

2. 就労移行支援利用者在籍状況（定員 6 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	46
女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	4	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	58
退所					1						1		2
入所	2					1							3

3. 就労移行支援利用率



・ 前年比の累計利用人数 平成 28 年度 931 名
平成 29 年度 1,174 名

4. 就労活動

【就労移行支援】

就職先

協力機関

なし

【就労継続支援 B 型】

就職先

協力機関

・ H 社 1 名

相談支援センターあすなろ

合計 1 名

5. 日中活動

(1) 作業訓練

- ① 生産事業部と連携し、成形品の検品・検査・出荷準備等の訓練により作業適性の評価を目的に取り組んだ。
- ② カフェ・デ・ソルでの接客訓練により、コミュニケーション力の向上を目的に取り組んだ。
- ③ りんどう会館施設外就労にて、ビジネスマナー実践、作業スキルの向上を目的に取

り組んだ。

- ④ G社の施設外就労にて、車の部品の組立、検査等で作業スキルの向上を図るとともに、挨拶、礼儀等の社会性の向上を目的に取り組んだ。

(2) 他の就労支援機関との連携

- ① 就労・生活支援センターと連携し、就職支援、ジョブコーチ支援、フォローアップの強化を図った。
- ② ハローワークと連携し、求職活動、職場開拓の強化を図った。

(3) 職場適応援助者による支援状況

就労移行準備訓練として、実習支援をサポートした。

6. 評価

(1) 作業訓練

- ① クリーンルームでの検査、出荷準備業務により、作業への集中力と忍耐力の向上に繋がっている。また、工場での成形補助作業では、実際の製造現場に携わることで仕事の緊張感を経験し、自信を深めることに繋がっている。
- ② 接客訓練を通じて、1名が一般就労に結びついている。
- ③ 清掃作業のスキルの向上に繋がるとともに、施設外で働くことの緊張感が経験でき、挨拶、返事、時間に合わせた行動ができるようになった。
- ④ の施設外就労を通じて、社会性を養うと同時に作業に向き合う姿勢、忍耐力の向上に繋がることができた。事業所内の作業にも反映し、効率よく取り組む作業スタイルが確立できるなど、施設の外に出て経験を積むことで意識の変化が見られた。

(2) 他の就労支援機関との連携

就労支援センターぽけっと主催の就労支援協議会では、県西地区オリジナルの就労評価システムを検討中で、今後は県西地域の就労移行支援事業所が共同で求職活動に取り組めるネットワークを築いていく。

(3) 職場適応援助者による支援状況

協力型ジョブコーチ

コスモス学園利用者	・・・0件	
職業センターからの依頼	・・・0件	合計0件

今年度は、一般就労に結びついた利用者は、就労継続支援B型から1名であり、就労移行支援からは一般就労する利用者を出すことができなかった。就労準備が整いつつある利用者が増えてきているため、次年度は一般就労に結び付けていきたい。

4. 平成 29 年度 コスモス学園中沼ケアセンター 事業報告

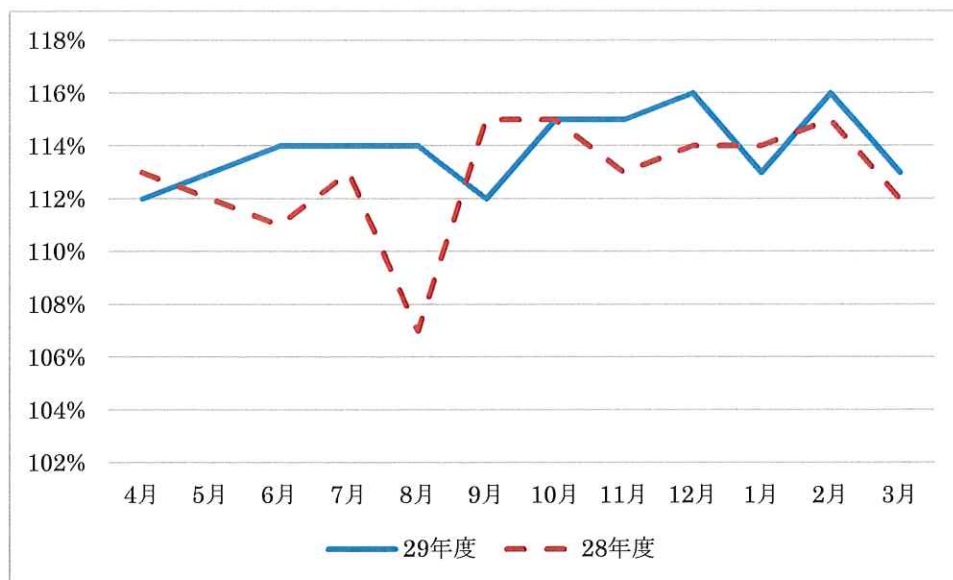
1. 事業内容

生活介護

2. 利用者在籍状況（定員 27 名）

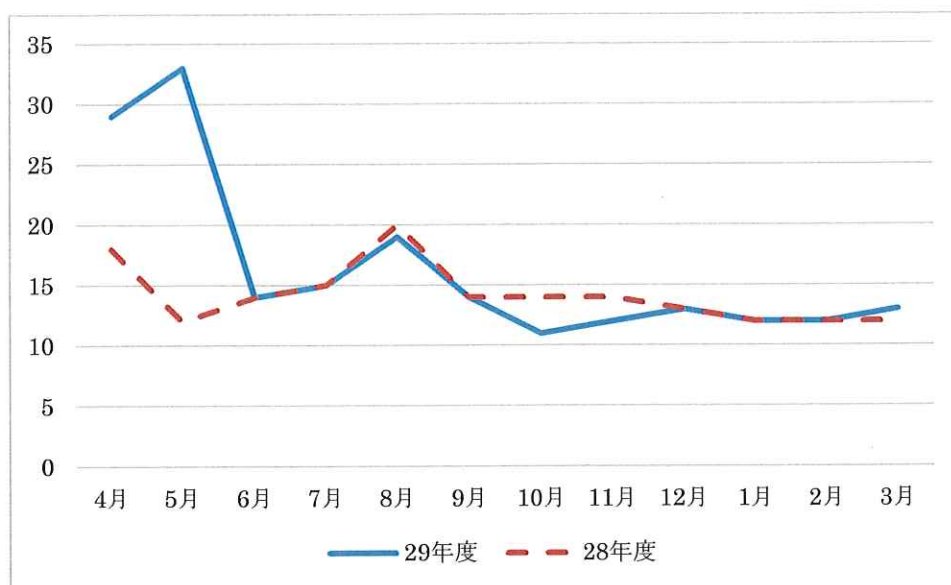
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
女	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
計	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	420
退所													
入所													

3. 生活介護利用率



平成 29 年度平均利用率 115% 平成 28 年度平均利用率 113%

4. 日中一時支援利用者数



5. 地域行事参加表

開 催 日	行 事 名	場 所
6/21～6/24	環境フェア	南足柄市役所
11/3	秦野市民の日	水無川緑地
12/3	健康フェスタ	保健医療福祉センター
12/9	県西地区障害者文化事業	川東マロニエ
2/21～2/23	ちいきふくし博	南足柄市役所

6. 作業活動・日中活動

(1) 作業活動

自主生産品作成やリサイクル作業を主として行いながら、受注作業にも取り組み、今まで以上に利用者のニーズにあった作業を選べる体制がとれた。また、年度末からは手先の訓練を行う作業を導入した。これはこれまでにあまり試みていなかった作業種目であったので利用者の関心は高かった。

(2) 余暇活動

これまで行っていた活動については継続して行っている。セラピー犬についても継

続して行っているが、コスモス学園中沼ジョブセンターやコスモス学園松田センターからも参加するようになり、事業所外の利用者と職員と関わるができるコミュニケーションの場になってきている。茶道、華道は落ち着いた雰囲気の中でゆったりと過ごす時間の確保につながっている。

(3) 運動プログラム

年間3回の予定であったストレッチ講習は講師の都合で2回になっている。次年度は3回行う予定である。これについては利用者が慣れてきたこともあり、細やかにストレッチのポイントを指導してもらえるようになっている。それを日々の活動の中にも取り入れることで体の状態の維持、向上に役立っている。

7. 評価

(1) 作業活動

自主生産品については、作ったものを販売する経路を確保する必要がある、何を生産していけばいいのかを検討していく。受注作業については、毎日行えるだけの量を確保することができなかったのも、受注先の開拓も含めて今後改善していきたい。

(2) 余暇活動

今年度は昼食外出を1回取り入れ、ファミリーレストラン等で昼食をとる機会を設けた。好評だったため今後も継続していきたい。これまで行ってきた余暇活動については、内容の再構成を図ることで、より興味を持てるよう模索していき、ボランティアを活用しながら新たな活動も視野に入れて検討していく。

(3) 運動プログラム

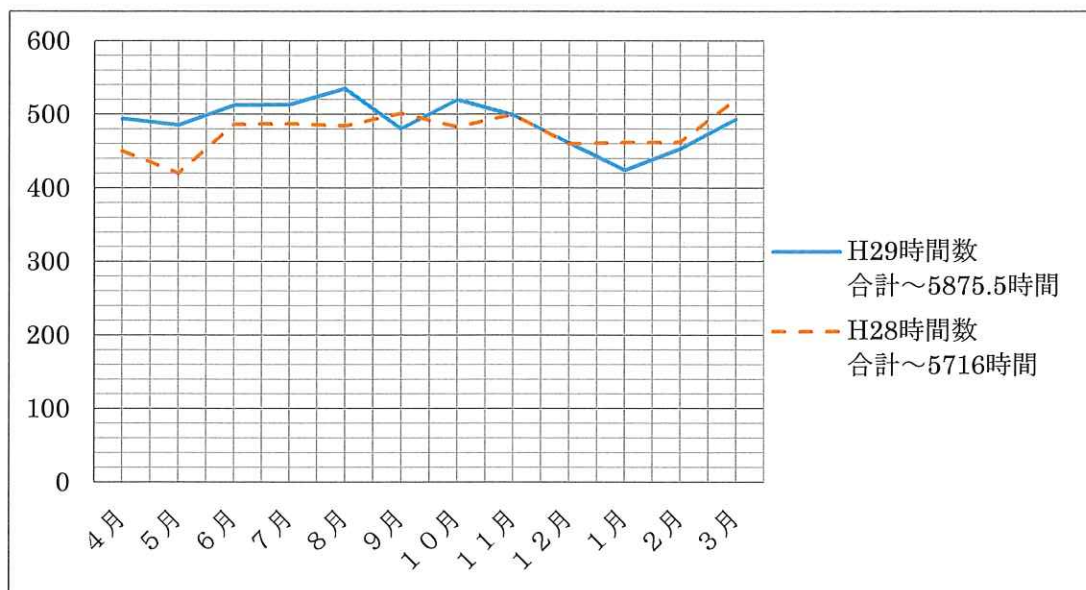
ストレッチ講習については同一の講師が対応し続けてくれていることもあり、利用者と講師との間でコミュニケーションがよくとれている。指導を受けたストレッチの方法を日々の活動の中でも行うことで、対象利用者の多くに成果が見られ機能維持が図れている。また、運動については、体を動かす機会が少ないためニーズが高く、プログラム内容を改善することでより楽しんで参加できる活動にしていった。

5. 平成 29 年度 居宅介護事業所それいゆ 事業報告

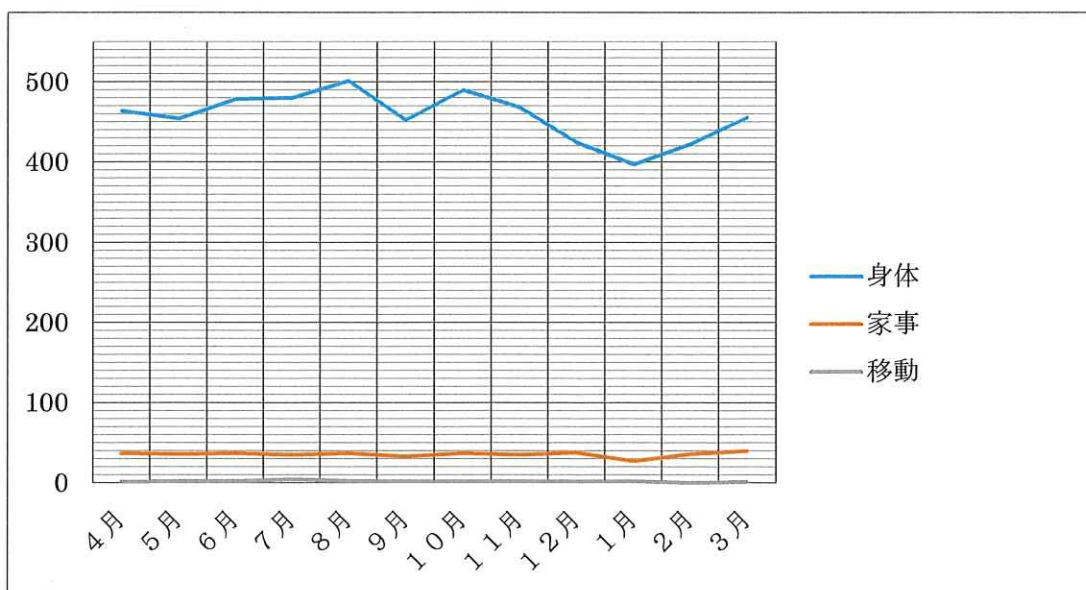
1. 事業内容

居宅介護

2. それいゆ利用時間



3. 支援内容別利用時間(家事・身体)



4. 評価

- (1) 今年度の総利用時間数は、昨年度より約 159.5 時間増であった。昨年度同様、休日のコスモスホーム勤務者をヘルパー資格所持者とした事の結果と考える。それによって更に支援の幅が広がった事が良かった。
- (2) 昨年度、外部での利用ニーズに対し、職員数の関係で対応することが難しいケースがあったので、スポット職員を増やすことが課題であった。しかし、現状ではニーズのすべてに答えるための職員確保は困難のままであった。次年度以降も引き続き課題である。
- (3) 平成 30 年度、国の見直しではグループホームにおけるヘルパー支援が特例措置により 3 年間延長となった。引き続きグループホームでの支援は可能となったが 3 年の間に外部件数増、職員増に取り組んでいく。
- (4) 県西地区あんしんヘルパーネット会議参加が 3 年目ということで、他事業所との連携も少しずつではあるが発展してきた。他事業所と行うヘルパー支援でも情報交換を行い共有できる場面が多くとれた事が良かった。次年度は更なる連携が図れるようにしていく。
- (5) 職員研修への参加増が課題であったが 1 日参加することができている。個々のスキルアップのための研修参加等の機会が現状は確保できてないため課題として次年度に繋げていく。

6. 平成 29 年度 コスモス学園松田センター 事業報告

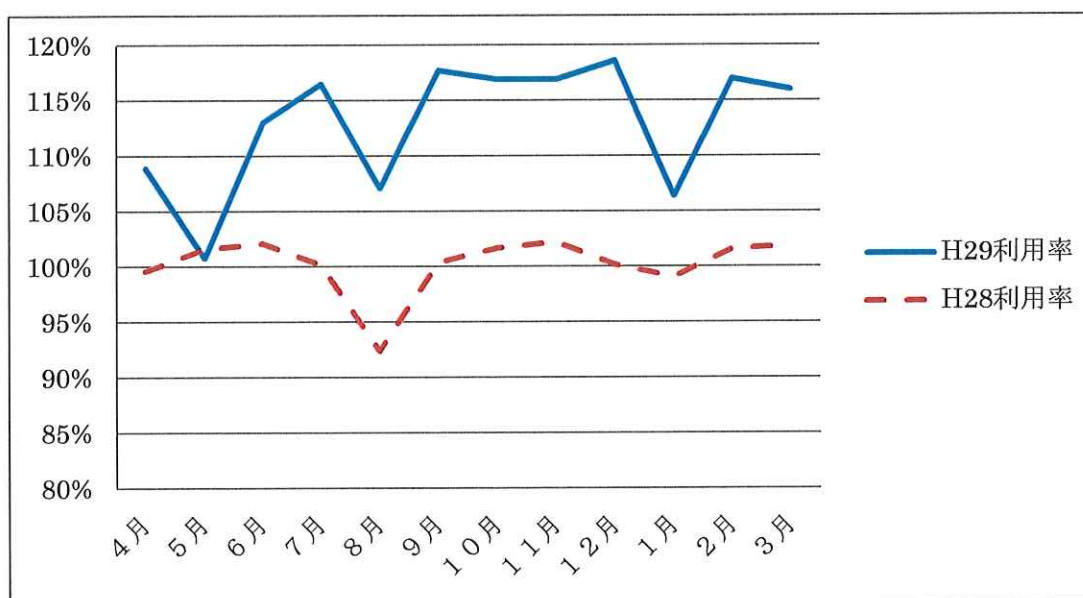
1. 事業内容

就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況（定員 22 名）

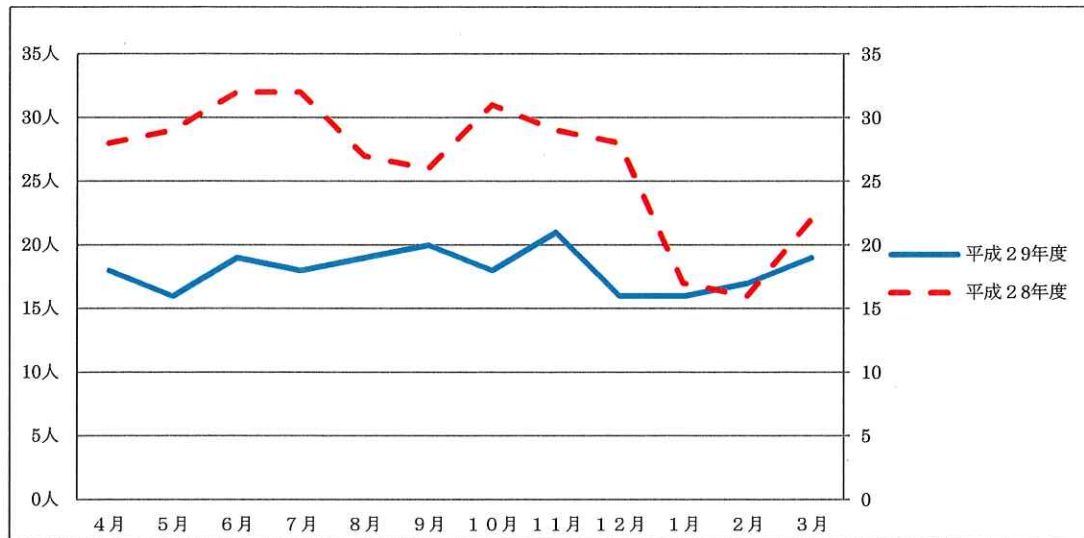
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	22	22	23	23	22	22	22	22	22	21	21	21	263
女	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	70
計	27	27	29	29	28	28	28	28	28	27	27	27	333
退所				1					1				2
入所	2		2										4

3. 就労継続支援 B 型利用率

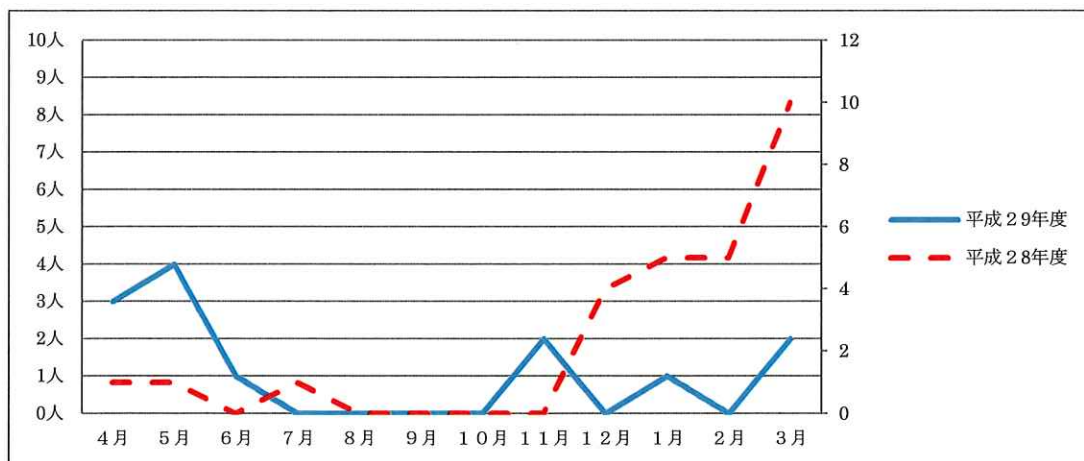


平成 28 年度平均利用率 100.2% 平成 29 年度平均利用率 112.9%

4. 日中一時支援利用者数



5. 日中一時支援利用者数(延長利用)



6. 工賃実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象	27	26	28	28	28	28	28	28	28	27	27	27	330
総額	303,430	295,610	327,520	333,380	307,710	322,080	324,640	296,050	275,410	280,060	776,560	322,800	4,165,250
勤務日数	527	489	548	564	542	544	566	541	522	468	515	536	6,362
勤務時間数	1871	1788	1977	2018	2082	1902	1974	1818	1697	1711	1914	1954	22,706

・ 平均工賃月額…12,622 円

・ 平均工賃時給…183 円

7. 日中活動

前年度に続き、利用者のニーズに対応するため作業種目の拡大に力を入れ、新たな受注作業の獲得など利用者工賃の向上、ニーズに合った作業を選択して意欲的に取り組むことを目的とした。また、現在行っている受注先との連携強化、地元企業を中心とした新規企業への営業活動、余暇活動として地域ボランティアの方々との交流の機会、地域美化活動なども継続して障害と事業所の理解にも力を入れた。

(1) 就労活動

- ① A社との受注作業の継続と作業種目の拡張を図った。
- ② B社との受注作業の継続と作業種目の拡張を図った。
- ③ コスモス学園中沼ジョブセンターとの作業連携の継続と作業種目の拡張を図り、プラスチック製品等の検査、梱包作業等を実施した。
- ④ C社の仕分作業の継続、D社のブルーベリー摘み取り作業、E社より依頼を受けた草刈り作業などの施設外就労を継続して利用者の作業能力、コミュニケーション能力の向上を図った。
- ⑤ 企業への営業活動も積極的に行い、F社との連携による作業を平成29年10月より開始している。

(2) 余暇活動

- ① 前年度に続き、運動プログラムとして事業所周辺を中心に歩行プログラムの実施、生活介護部門が実施するダンベル体操、ストレッチ講習にも参加して、体力作り、体重増加の防止、健康維持に努めることを目的とした。
- ② 前年度に続き、奉仕活動（松田町を中心とした地域美化活動）、廃品回収を継続して行い、地域貢献、交流に力を入れ、障害や事業所の理解を深めることを目的とした。
- ③ 前年度に続き、生活介護部門連携のもと、地域のボランティアの方と接する機会を多くして（演奏ボランティアとの交流等）、地域交流に力を入れ、障害や事業所の理解を深めることを目的とした。

- ④ 外出活動の一環として地元行事(松田桜まつり等)にも積極的に足を運び、障害や事業所の理解を深めることを目的とした。

以上のように今年度は、前年度に継続して就労活動、余暇活動とも利用者の選択肢を増やして、個々のニーズに沿った支援、目標が達成できるように取り組んだ。また、多くの方と接することで障害、事業所の理解が得られるように活動した。

8. 評価

(1) 就労活動

- ① A社は作業利益については前年度に対して横這いの状況となったが、引き続き月毎の注文も固定されていることから利用者の選択の余地と作業可能な利用者も増えて、利用者の技術力、生産力の向上に繋がった。今後も新規作業などの折衝を行い、収入の向上と利用者の選択肢の幅を増やす。
- ② 平成 28 年度末より開始しB社の作業に関しては、前半は手探り状態だったが、後半は安定した受注となり、利用者の作業選択の余地に繋がった。新作業獲得の余地があるので、継続して収入の向上と利用者の選択の幅を増やす。
- ③ コスモス学園中沼ジョブセンターの作業は検品、計量作業などの種目が引き続き増加して作業利益は前年度に比べ約 10%増となり、今後も新しい作業の折衝を行い作業種目の増加(利用者の選択肢の幅を増やす)、収入の向上、工賃 UP を目指す。
- ④ C社の仕分作業利益は前年度に比べほぼ横ばいとなったが、継続して現地従業員と直接連携を取り、利用者の作業マナー向上、障害の理解を深めることができた。D社のブルーベリー摘み取り作業、E社の草刈り作業なども利用者の作業選択肢が広がり、安定した収入の確保に繋がっている。今後も継続して行い、外部の方と接する上での必要なマナーの習得、技術・収入の向上などに繋げるようにする。
- ⑤ 平成 29 年 10 月より開始したF社の作業は、作業可能な利用者が多く、利用者の作業選択のニーズが広がり、収入確保に繋がった。継続して受注量が増えるように営業活動を実施する。

(2) 余暇活動

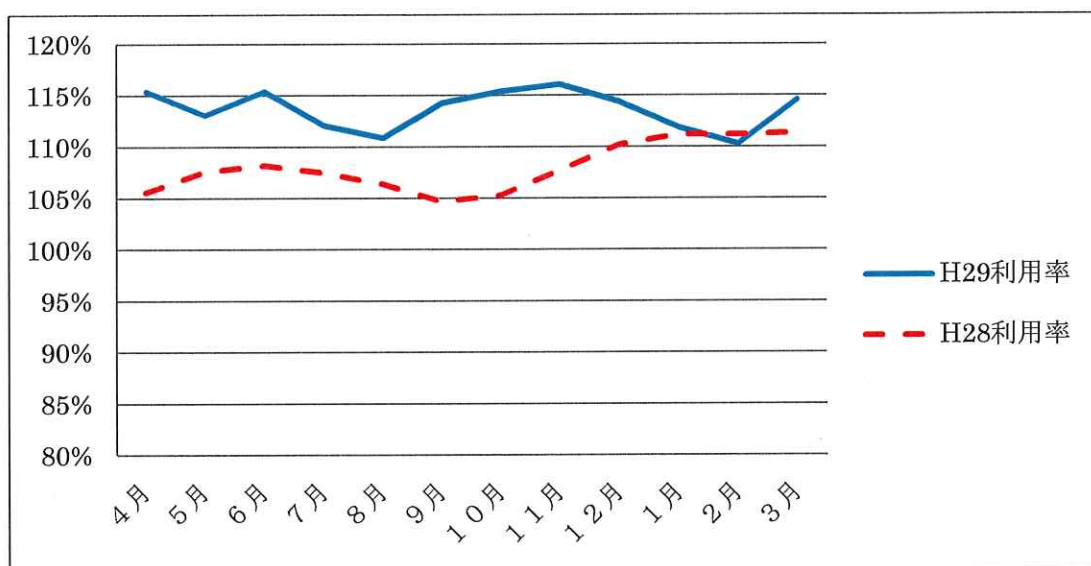
- ① 前年度に続き、ニーズに応じて運動プログラムなど積極的に行い、意識を喚起して体重増加の防止に繋がられた。また、ストレッチ講習では様々なニーズの方に対応した運動プログラムも設定できた。ボランティア、講師と関わる機会を持ち障害の理解を深めることができた。今後も個々のニーズに応じて運動プログラムを行い、健康な身体の維持を目指す。
- ② 前年度に続き、地域の方との交流の機会や、松田町のリサイクル活動への協力、また法人が行う環境マネジメントシステム（K E S）の環境改善活動にも積極的に携わることができた。引き続きリサイクル活動の推進、松田町を中心とした地域との連携に取り組む。
- ③ 生活介護部門との連携のもと、多くのボランティアの方々と関わることで、障害、事業所の理解を深めることができた。今後も多くのボランティアと関わり、障害の理解を深め、事業所を多くの方に知ってもらえるように取り組む。
- ④ 松田町が主催する松田桜まつり等の行事などには積極的に足を運び、地域に対する障害、事業所の理解に繋がった。また、利用者の楽しみの一つともなったので、今後も積極的に参加していきたい。

1. 事業内容
生活介護

2. 利用者在籍状況（定員 18 名）

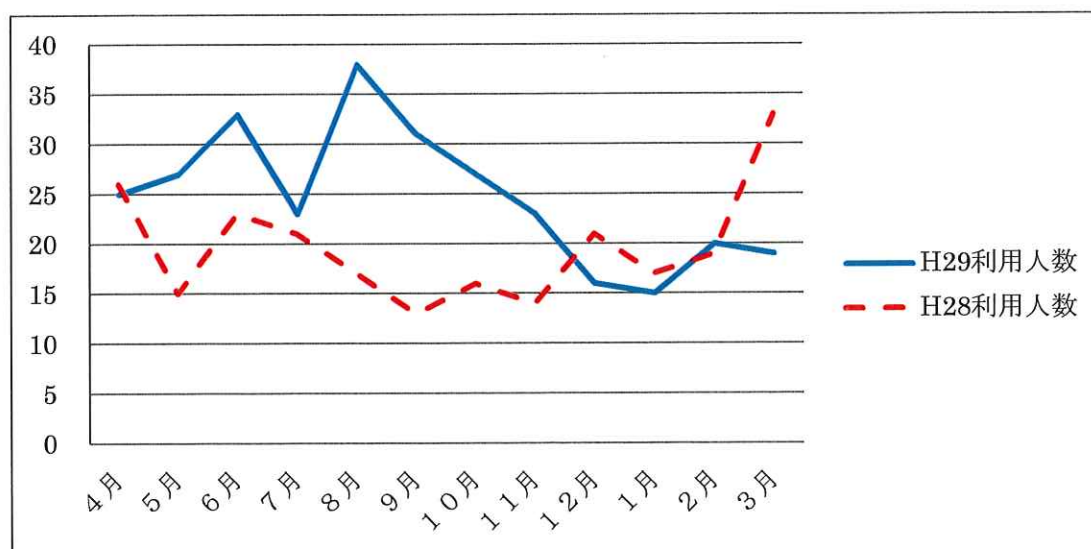
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
女	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
退所													0
入所	1												1

3. 生活介護利用率



平成 28 年度平均利用率 108.6% 平成 29 年度平均利用率 113.7%

4. 日中一時支援利用者数(延長利用)



5. 地域行事参加表

月 日	行 事 名	場 所
4 月 29 日	花供養まつだばたん祭り	延命寺
5 月 5 日	松田町寄自然休養村若葉まつり	寄自然休養村
8 月 26 日	まつだ観光まつり	松田町酒匂川町民親水広場
11 月 3 日	秦野市民の日	水無川緑地
11 月 11 日	HoroHoro 朝市	上府中公園
11 月 26 日	第 1 3 回まつだ産業まつり	J R 松田駅北口広場
12 月 4 日~12 月 8 日	障がい者街角アートギャラリー	さがみ信用金庫松田支店
12 月 9 日	県西地区障害者文化事業	川東マロニエ
2 月 21 日~2 月 23 日	ちいきふくし博	南足柄市役所
3 月 4 日	ふくしあったかフェスタ	松田町健康福祉センター

6. 日中活動

利用者個々の体調面、情緒面に合わせた環境やニーズに沿ってプログラムを設定し、全員が平等に様々な活動に取り組めるように実施した。

(1) 就労活動

障害特性やニーズに応じた製品作りを継続して取り組み、委託販売所、地域行事への販売を行っている。また、就労継続支援 B 型と連携して受注作業にも取り組み、仕事をする意識の向上、達成感につなげる支援を実施した。

(2) 余暇活動

ニーズが高い外出活動、製作活動、スヌーズレン、DVD鑑賞等に取り組んだ。

通所日が異なる利用者が数名いたが、全員が参加できるように個々にプログラム設定し、活動が充実できるように実施した。音楽療法は年 24 回（月 2 回）取り組み、利用者のニーズに応じた取り組みをした。

コスモス学園中沼ケアセンターと新たに合同プログラムを企画し、ドックセラピー、茶道体験、ダンベル体操等を行った。

(3) 運動プログラム

利用者の身体機能を維持することを重視し、日々の体調に合せたプログラムを設定して実施した。

① 作業後、午後のプログラムにストレッチ、歩行を設定し、継続して実施した。

② 専門家からストレッチ講習を受け、利用者個々のマニュアルを参考に実施した。

③ 運動する環境を複数設定し、（小田原アリーナ、秦野市総合体育館、南足柄運動公園）継続してプログラムを実施した。

④ より多くの利用者が興味を持って楽しく参加できるよう、ダンベル体操のプログラムを継続して行った。

以上のように今年度も利用者個々の状況に合わせたプログラムを設定して取り組んだ。引き続き次年度も利用者に状況に合わせた環境・プログラムを設定して、充実した活動に取り組めるよう支援をする。

7. 評価

(1) 就労活動

- ① 地域行事販売は販売場所が昨年度と変わらなかったが、地域交流の活性化や販売数の増加につなげることができた。
- ② 受注作業は作業種類も多くなり、利用者の作業選択が広がり、作業種目の幅が広がる支援に取り組むことができた。

(2) 余暇活動

- ① 地域ボランティア（ダンベル体操、カラオケ、音楽演奏等）と様々な交流をすることができた。今後も多くのボランティアと交流を継続したい。
- ② 外出活動では、季節に応じたドライブに加え電車やバスを利用した外出を設定し、意欲的に取り組んでいた。今後も交通機関の活用を余暇活動などで取り入れていきたい。
- ③ 音楽療法は、多くの利用者が参加でき、個々に合わせた音楽活動ができた。活動内にそれぞれの個性を発揮でき、情緒面でも安定につながっている。今後も個々に合わせた音楽活動や楽器を使用するなど、取り組んでいきたい。
- ④ 製作活動は、県西地区文化事業のコンクールで、銀賞を受賞した。ヒルトン小田原のロビーに2週間程展示された。

(3) 運動プログラム

- ① ストレッチ講習を定期的に行い（年2回）利用者に合わせたストレッチ方法を再度確認し、統一したストレッチ方法を行えた。引き続き講師指導のもと、運動プログラムの充実に努める。
- ② 利用者の体調や天気に合わせて運動プログラムを設定し、体調不良や怪我もなく継続して取り組んでいた。また、運動プログラムを継続したことで、ADLの維持や足取りも良く歩行ができていた。個々のニーズに応じて運動プログラムを維持して機能低下の防止にも努める。

7. 平成 29 年度 相談支援事業所あすなろ 事業報告

1. 事業内容

特定相談支援・指定障害児相談支援

2. 登録者数

市町村別登録者数

市町村	人数	市町村	人数
小田原市	28 名	足柄上郡松田町	32 名
足柄下郡箱根町	1 名	足柄上郡山北町	8 名
南足柄市	46 名	秦野市	17 名
足柄上郡大井町	19 名	藤沢市	2 名
足柄上郡開成町	10 名	横須賀市	1 名
足柄上郡中井町	1 名		
		合計	165 名

3. 事業実績

請求事務が完了して収入として確定している実績を記載

(1) サービス等利用計画作成状況(成人)

市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小田原市	5		3	4	4	3	2	0	1	0	3	2	27
足柄下郡箱根町				1									1
南足柄市	4		1	1	3	2		3	3		3	4	24
足柄上郡大井町	5			2	2	1	4	2	3	2			21
足柄上郡開成町	1		1	3			2		1			1	9
足柄上郡中井町													0
足柄上郡松田町	6	2	1	2	1	2	4	1			3	4	26
足柄上郡山北町	3	1	1								1		6
秦野市	1	1	2	1		1			2			2	10
藤沢市													0
横須賀市													0
合計	25	4	9	14	10	9	12	6	10	2	10	13	124

(2) サービス等利用計画作成状況(児童)

市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小田原市													0
足柄下郡箱根町													0
南足柄市													0
足柄上郡大井町							1		2				3
足柄上郡開成町													0
足柄上郡中井町													0
足柄上郡松田町	2			3		2	1	2	1				11
足柄上郡山北町													0
秦野市													0
藤沢市													0
横須賀市													0
合計	2	0	0	3	0	2	2	2	3	0	0	0	14

(3) モニタリング作成状況(成人)

市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小田原市	0	2	1	3	2	3	0	0	3	1	0	0	15
足柄下郡箱根町									1			1	2
南足柄市	7	3	2	11	7	6	2	1	1				40
足柄上郡大井町	3	4	6			6		2		1		1	23
足柄上郡開成町		1				1		1	2	1			6
足柄上郡中井町													0
足柄上郡松田町	4	2	5	3	5	4	2	3	2			1	31
足柄上郡山北町				3		2		1	1				7
秦野市	1	3	2		1	3	2	2	2	3	1		20
藤沢市													0
横須賀市	1												1
合計	16	15	16	20	15	25	6	10	12	6	1	3	145

(4) モニタリング作成状況(児童)

市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小田原市													0
足柄下郡箱根町													0
南足柄市													0
足柄上郡大井町		2	1			1							4
足柄上郡開成町													0
足柄上郡中井町													0
足柄上郡松田町	2		3			1							6
足柄上郡山北町													0
秦野市													0
藤沢市													0
横須賀市													0
合計	2	2	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	10

4. 平成 29 年度の主な活動、動き

(1) 会議、研修会等への参加

月 日		研 修 ・ 連 絡 会	場 所
1	6 月 12 日	法人内研修（防犯、防災）	コスモス学園
2	6 月 14 日	足柄上地域自立支援協議会相談支援部会	大井町役場
3	7 月 14 日	県西地区相談支援部会研修第 1 回事例検討会	小田原合同庁舎
4	7 月 18 日	第 19 回足柄上地区権利擁護ネットワーク連絡会	足柄上合同庁舎
5	8 月 25 日	2 市 8 町相談支援事業所連絡会	小田原合同庁舎
6	10 月 13 日	県西地区相談支援部会研修第 2 回事例検討会	小田原合同庁舎
7	10 月 26 日	わらべの杜見学	わらべの杜
8	10 月 31 日	光海学園見学	光海学園
9	11 月 14 日	1 市 3 町自立支援協議会相談支援部会	小田原合同庁舎
10	12 月 11 日	県西地区相談支援部会研修第 3 回事例検討会 (事例提供)	尊徳会館
11	1 月 19 日	法人内研修（わらべの杜見学）	わらべの杜
12	1 月 26 日	県西地区相談支援部会研修第 4 回事例検討会	小田原市役所
13	2 月 16 日	県西地区相談支援部会研修第 5 回事例検討会	尊徳会館
14	2 月 22 日	これからの障害児者福祉について報酬改定を中心に	小田原合同庁舎
15	3 月 7 日	足柄上地域自立支援協議会相談支援部会	大井町役場
16	3 月 20 日	第 21 回足柄上地区権利擁護ネットワーク連絡会	足柄上合同庁舎

(2) サービス等利用計画、モニタリングの実施

(3) ケース特性に合わせた個別の対応（訪問看護の導入）

5. 評価

(1) 会議、研修会等への参加について

① 会議について

足柄上地域自立支援協議会相談支援部会では地域の相談支援事業所として地域資源の情報交換や平成 30 年 4 月の報酬改定後の事業所の運営についての情報交換を行った。

② 研修活動について

昨年度の課題として挙げていた障害児施設との連携強化のため、地域にある障害児入所施設 2 か所を訪問して見学をさせていただいた。結果として障害児施設と顔の見える関係が成り立ち、担当ケースの情報交換がスムーズになったことや障害児入所施設が抱える問題に共同して取り組み解決の一助として関わられた。

また、地域での相談支援事業所としてのネットワーク強化や地域の情報交換として事例検討会などに参加している。

(2) サービス等利用計画、モニタリングの状況について

平成 29 年 10 月にサービス等利用計画、障害児利用支援計画の担当件数合計が 180 件となり、想定していた上限数になった。これを受けて平成 29 年 10 月に担当件数の多い 1 市 2 町の行政担当者に説明を行い、受け入れを見合わせている。

現在はサービスの終了など緩やかに担当件数を減らし 165 名になっている。

(3) ケース特性に合わせた個別の対応について

服薬管理や病状が不安定な方を対象に訪問看護サービスの紹介を行い健康管理の向上を図った。また、訪問看護との連携で本人のニーズの掘り起こしや医療関係の不安や悩みが解消出来ており、本人の生活の質の向上に繋がった。

6. 今後の課題等

(1) 登録者数について

障害児相談を含めて一時 180 名まで利用者数が増加した。その後、サービス利用終了などにより利用者数は今期末 165 名と減少している。

平成 30 年 4 月より一部サービスのモニタリングの標準期間が短くなり、面談等の回数が倍増することが決まっている。現状の受入利用者人数では面談の対応等が困難になっていくことを踏まえ、新規受付に関しては見合わせている。

増加する作業量に関しては新しい制度に沿って書式の簡素化を図るなど、直接利用者支援に関わらない部分での対応を検討していく。

(2) 相談支援専門員の人員体制について

あすなろの相談支援専門員の人員体制は現在 1 名である。法人内の他事業所の相談支援専門員の資格保持者も 1 名だけである。相談支援専門員の資格要件を満たし資格取得をするには年単位の期間が必要であり、すぐに増員ができる性質のものではないため、現任者 1 名の体制はリスクの高い状況にある。

よって、有資格者を育成することがあすなろの安定した運営のためにも急務となっているため、平成 30 年度の資格取得の研修申込みを法人内で検討していきたい。

8. 平成 29 年度コスモスホーム事業報告

1. 事業内容

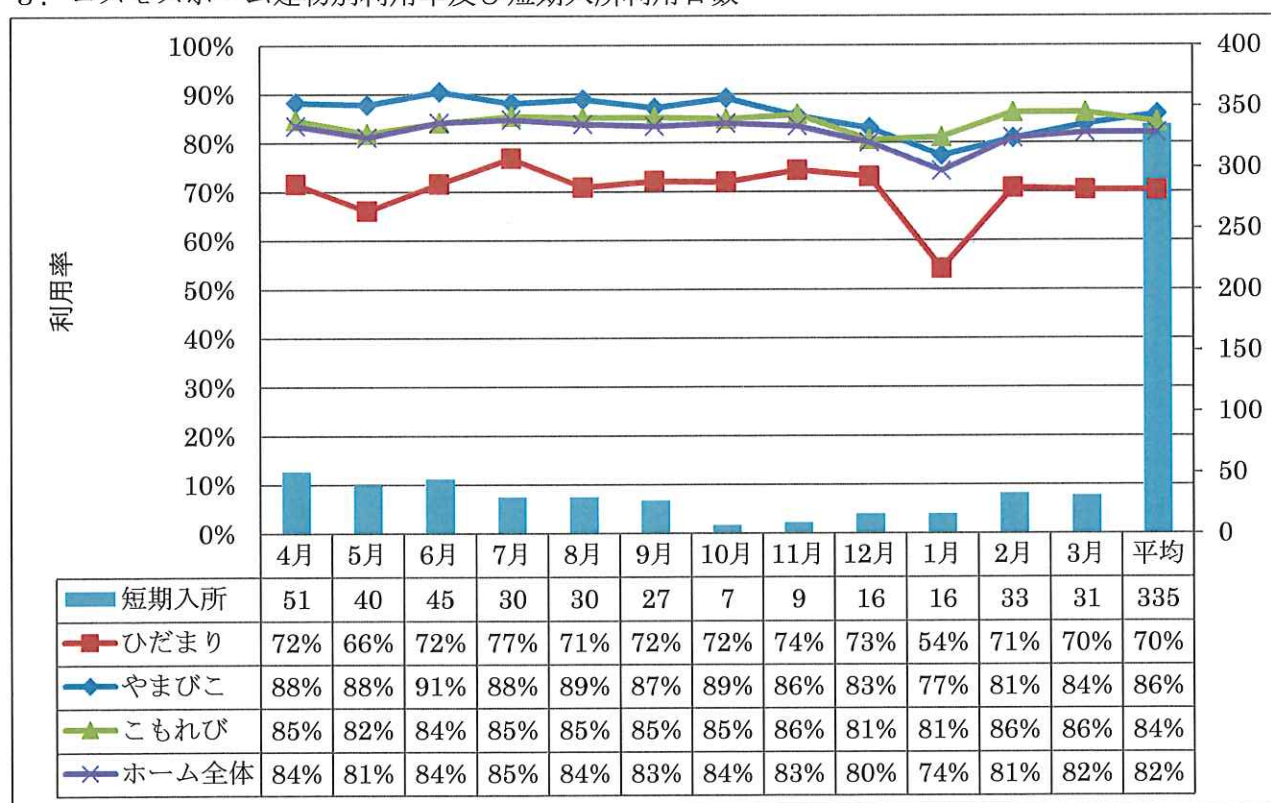
共同生活援助（介護サービス包括型）

短期入所（空床利用型）

2. 利用者在籍状況（定員 30 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひだまり	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
やまびこ	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	12
こもれび	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
合計	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	30
入居												1
退居									1			

3. コスモスホーム建物別利用率及び短期入所利用日数



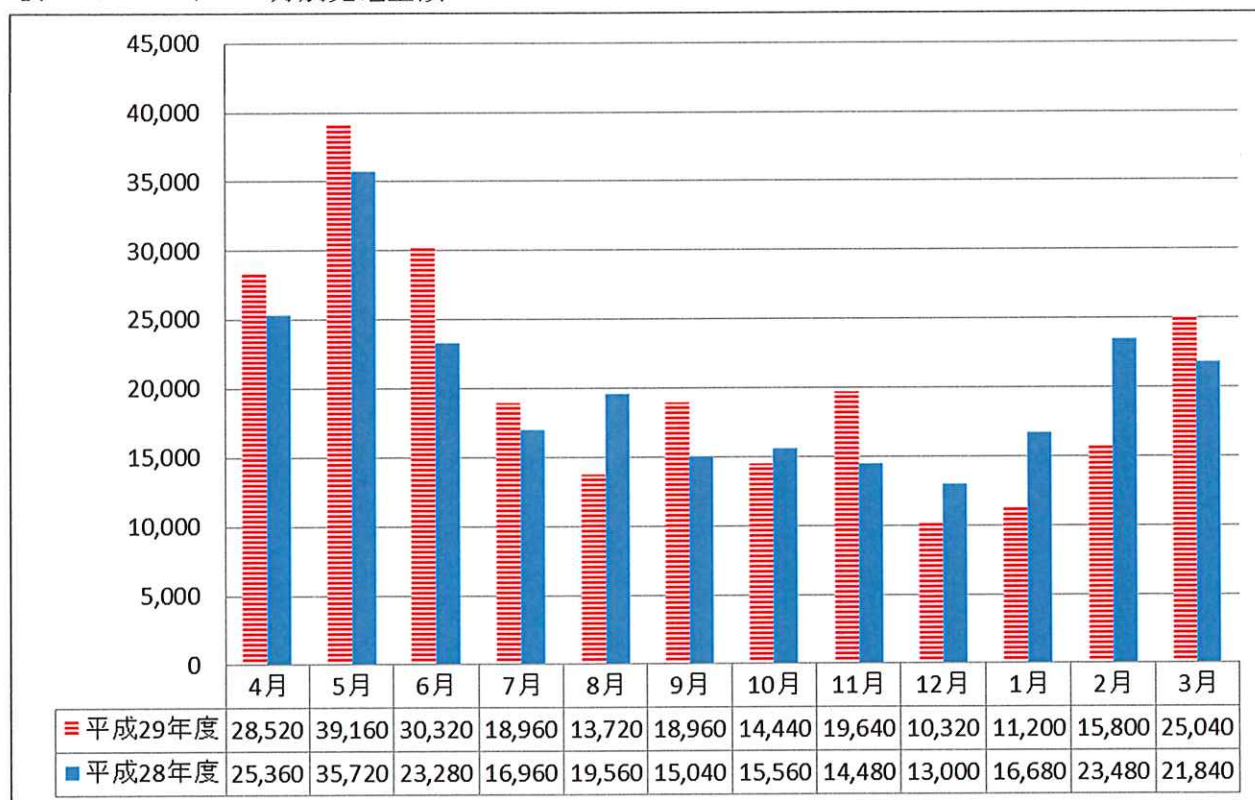
※ 短期入所の平均欄は利用日数合計

平成 28 年度コスモスホーム建物別利用率及び短期入所利用日数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
ひだまり	58%	56%	61%	60%	59%	65%	60%	63%	60%	56%	63%	56%	60%
やまびこ	85%	85%	87%	86%	86%	84%	85%	84%	80%	80%	84%	83%	84%
こもれび	69%	65%	71%	67%	75%	76%	76%	76%	72%	73%	74%	76%	72%
全体	73%	71%	75%	73%	76%	77%	76%	77%	72%	73%	76%	75%	75%
短期入所	63	63	68	73	45	45	42	39	39	35	40	46	598

※ 短期入所の平均欄は利用日数合計

4. コスモスホーム月別売電金額



5. 地域行事参加表

開催日	行事名	場所
6/18(日)	南足柄市統一美化デー	中沼地域
8/20(日)	中沼自治会夏祭り	薬師堂
9/ 3(日)	南足柄市・中沼自治会防災訓練	薬師堂
11/12(日)	中沼自治会文化祭	中沼公民館
11/18 (土) ～19(日)	日向公民館祭	日向公民館
12/9(土)	県西地区障害者文化事業	川東マロニエ
3/18 (日)	第 14 回ワクワク・のりのりコンサート	けやきホール

6. 支援内容

利用者の障害特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活が営めるよう個々の課題に即した次の取り組みを行った。

(1) 障害者の地域生活・地域移行の「受け皿」としての役割

本人の意思に基づき適切な支援を受けながら充実した暮らしができるよう関連機関等との調整を行った。

(2) 日常生活能力の維持・向上

整容、食事、掃除、洗濯、買物、着脱衣等の日常生活関連動作の支援及び入浴、排泄介助、健康管理、服薬管理、金銭管理、相談等の自立に向けた支援を実施した。

(3) 本人の望むサービスの提供

アセスメントおよびモニタリングの実施により利用者の意向を尊重し、心身の状況や、その環境に応じて適切なサービスが提供できるよう取り組んだ。

(4) 日中支援

心身の状況により、日中事業所若しくは職場に行くことができなかった利用者に対し、食事の提供や様子観察、通院介助、関係機関への連絡調整等を行った。

(5) 余暇支援

地域行事、事業所行事等への積極的な参加により、地域との交流を深め暮らしの充実を図った。

(6) 通院同行支援

定期及び緊急の通院同行を実施し、利用者の健康増進、維持に努めた。

7. 評価

(1) 障害者の地域生活・地域移行の「受け皿」としての役割

地域生活を支援する観点から行政、医療、福祉等様々な専門機関との重層的な連携を保ち、地域資源を活用しながら利用者の暮らしの充実と質的向上に繋げた。今後も利用者の思いを尊重しながら生活環境の変化等に敏速に対応する。

(2) 日常生活の維持・向上

① 日常生活関連動作の支援については、自立に向けて個々の障害の状況に合わせ自主性を促しながら「できること」を積み重ねてきた。今後も引き続き楽しみながら継続的に行えるよう支援をする。

② 服薬管理対象者 17 名（平成 28 年度 15 名）、塗布薬及び季節の配薬を含めると 23 名/30 名となり、今後も対象者の増加傾向が予測される。

金銭管理対象者 17 名（平成 28 年度 19 名）については管理マニュアルに則り不備のないよう実施した。その他、間食等管理対象者は 5 名（平成 28 年度 3 名）の支援を行った。その結果、メンタル面の安定と作業意欲等に繋がった。

③ 生活相談においては、主に日中事業所、就労先や事業所内での人間関係、健康面等の相談があり、自分で解決できるようアドバイスをし、ケースによっては関係機関との調整を行った。更に心身の安定を図れるよう会話等を通じたコミュニケーション支援を強化していく。

(3) 本人の望むサービスの提供

モニタリング等により個々のニーズを引き出し自立に向けた支援を行った。今後も課題達成に向けての取組を行っていく。

(4) 日中支援

急な予定の変更等にも日中事業所及び居宅介護事業所との連携により食事提供や様子観察、通院同行等は充分対応することができた。今後ますますの連携が必要と思われる。

(5) 余暇支援

余暇支援については、「職員ボランティア」のバックアップ体制が確立でき、地域行事への参加が安定化した。また、中沼自治会行事、県西地区行事等への積極的な参加により地域の理解を得て良好な関係作りに繋がっている。

ホーム行事…①10月7日(土)第4回バーベキュー大会

②12月2日(土)第5回忘年会

③誕生会…毎月

(6) 通院同行支援

定期通院同行者は14名(平成28年度10名)、緊急通院同行者は4名(平成28年度9名)であった。勤務調整を行い全て対応したが、保護者の高齢化等に伴い通院同行支援は増える一方であるため、外部事業所の通院同行支援サービスを利用することも一つの選択肢であると思われる。

(7) 事業所運営について

平成29年度の利用率は82%であった。インフルエンザの発症や、12月に1名退所してから3月入居までの約2ヵ月間の欠員等で利用日数の減少が利用率の低下となった。このように利用者の健康状態が、ストレートに利用率に跳ね返ってくるのがコスモスホームの現状である。

流行性の病状があればご家庭の協力を仰がざるを得ない現状では高齢化する保護者に対しても大きな負担であると言える。今後、利用率の安定も含め事業の検討(隔離スペースの増設等)が必要である。

引続きコスト削減の徹底を図り、利用者、職員の安全を第一に関係機関、各事業所等との連携を図るとともに、法人内外の研修に参加し、虐待防止及び人権擁護を意識した支援とサービスの質的向上に努めたい。

(8) 短期入所事業(空床利用型)について

利用者の怪我により6月8日から約半年間、「ひだまり」体験ルームの予約を中止し、24時間対応での支援を行うことになった。

そのため、この期間は短期利用を必要としている多くの利用者ならびに家庭のニーズに応えることができなかった。

これについては1月から利用再開するも、利用者数の合計は335名(平成28年度598名)に留まった。しかしながら、後半には法人外の新規契約者と日中事業所からの新たな利用希望者が増えたことにより次年度も更にファミリーサポートの意義を深めていきたい。